くまもと文学・歴史館　開館五周年企画展

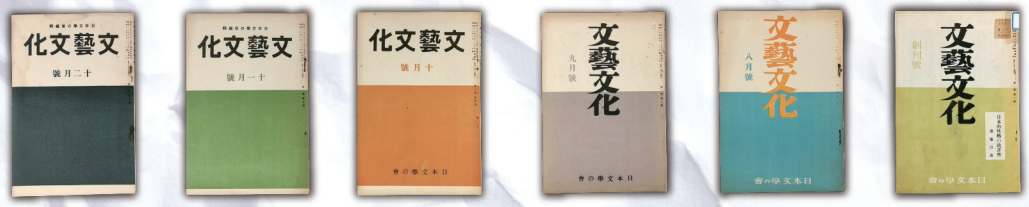
かたくなにみやびたる

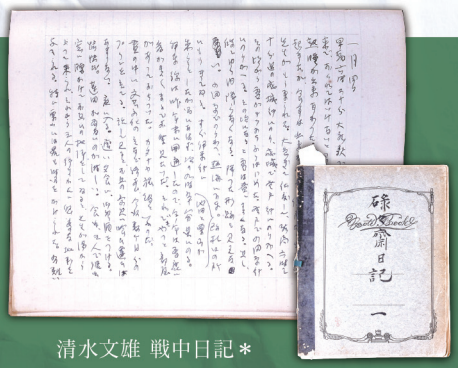
蓮田善明と『文藝文化』

国文学者 蓮田善明は明治三十七年（一九〇四年）植木町（現熊本市）に生まれ、旧制中学済々黌を卒業するまで熊本で過ごしました。広島高等師範学校卒業後は中学教師になりますが、古典研究への想いやみがたく、教職を辞して広島文理科大学へと進学。そこで知り合った仲間たちと、古典の研究誌『国文学試論』を出し始めます。やがて想いは「みやびの精神」追求へと方向性を定め、昭和十三年（一九三八年）には文芸誌『文藝文化』を創刊しました。

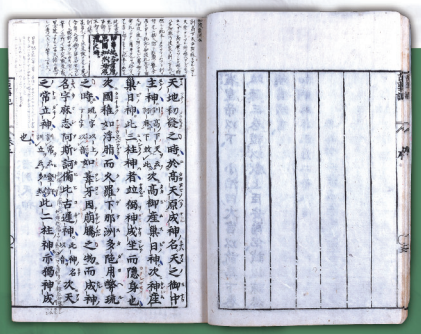
戦時体制下にあって古典の伝統の復活を説いた同誌は、戦後、愛国心を鼓舞したと目され〝黙殺〟の状態でした。蓮田自身、二度の召集を受け出征し、帰らぬ人となったことも、雑誌の評価に影響を与えました。

さて、いま〝昭和〟からすこし距離を置いて、私たちには何が見えるのでしょうか。くまもと文学・歴史館五周年のこの機会に、蓮田善明の文学的事績を振り返ります。

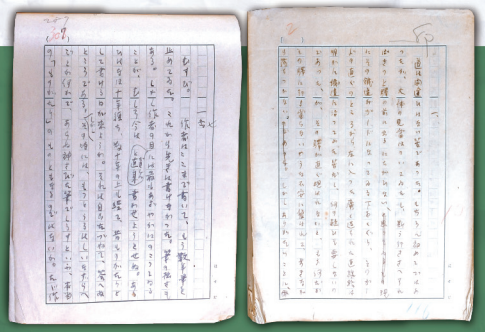




清水文雄 戦中日記＊



蓮田善明旧蔵『真淵訓点 延佳麓頭古事記』



蓮田善明自筆原稿「有心」

関連行事　参加無料

◇記念講演会◇　要申込

演題　「蓮田善明の思想と文学
　　―『文藝文化』と『日本浪曼派』の間」

講師　坂元昌樹 氏（さかもと まさき）

熊本大学大学院人文社会科学研究部教授。著書に『〈文学史〉の哲学 日本浪曼派の思想と方法』（翰林書房、二〇一九年）、『夏目漱石の見た中国 「満韓ところどころ」を読む』（集広舎、二〇一九年、共編著）ほか。

令和三年十一月十四日（日）
　午後一時三〇分～午後三時

会　場　熊本県立図書館三F 大研修室
定　員　五〇名（申し込み先着順）
お申込先　電話 〇九六―三八四―五〇〇〇㈹
受付時間　午前九時三〇分～午後五時

◇ギャラリートーク◇　申込不要

令和三年十月二十四日（日）
　十一月二十一日（日）
　午後一時三〇分～午後二時

本展担当職員による展示解説
くまもと文学・歴史館ロビーに集合

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、内容を一部変更、または開催しない場合があります。最新情報はホームページでご確認ください。https://www2.library.pref.kumamoto.jp/

『文藝文化』同人＊　昭和12年
［前列左から］蓮田善明、斎藤清衛
［後列左から］栗山理一、清水文雄、池田勉

＊の資料は清水明雄 所蔵

次回展示会：「文学と歴史でたどる江津湖の記憶（仮）」　令和４年（2022）３月17日（木）～５月23日（月）

●JR熊本駅から路面電車で約30分
（JR新水前寺駅から路面電車で約10分）
「市立体育館前」下車徒歩約5分
●バス「水前寺公園前・県立図書館入口」
下車徒歩約5分
●駐車場
熊本市総合体育館・青年会館駐車場（共用）
●ハートフルバスをお持ちの方は、図書館北側の専用駐車場をご利用下さい。
●駐車場に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用下さい。

5周年 くまもと文学・歴史館

〒862-8612 熊本市中央区出水2丁目5番1号
TEL：096-384-5000
FAX：096-385-4214
https://www2.library.pref.kumamoto.jp/
くまもと文学・歴史館　検索